

# 令和5年度 第1回大分県森林<sup>もり</sup>づくり委員会

日時：令和5年8月2日（水）

15：00～16：30

場所：大分県庁本館9階91会議室

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. 審議監あいさつ

### 3. 議 事

#### (1) 令和4年度 大分県森林環境税活用事業の取組について

①災害に強い森林づくり推進事業（森林整備進室）

②優良竹林化・利活用推進事業（林産振興室）

③未来の環境を守る人づくり事業（うつくし作戦推進課）

#### (2) 令和5年度大分県森林環境税活用事業の取組について

#### (3) その他

①国森林環境税と県森林環境税について

②今後のスケジュールについて

・令和5年度第2回森林づくり委員会10月25日（水）午後（予定）

### 4. 閉 会

# 令和5年度 第1回大分県森林づくり委員会 出席者名簿

## 1. 委員名簿

		氏名	在任期間	住所	所属団体及び役職名等	会議 出欠
学識 経験者	1	ハヤシ ヒロアキ 林 浩昭	5年目	国東市	国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会会長 別府大学客員教授	○
	2	タカノ ケイ 田中 圭	5年目	大分市	大分大学理工学部 准教授	○
林業	3	オホハラ 忠利 大平 忠利	3年目	宇佐市	大分県林研グループ連合会 会長	○
	4	チウ サエユキ 長 紗恵子	3年目	日田市	長山林事務局・大分県林業経営者協会 事務局	○
木材 活用	5	ヨヤマ 武史 横山 武史	3年目	大分市	大成木材株式会社 代表取締役	○
	6	イタバ ナミ 板場 奈美	3年目	大分市	一級建築士 もりのわ設計室	○
	7	モリサコ ツネノリ 森迫 常徳	3年目	大分市	大分県木材協同組合連合会 専務理事	○
森林 教育	8	ワタシ しのぶ 綿末 しのぶ	3年目	杵築市	みどりの少年団（八坂かっぱクラブ）会長	○
	9	スガ セツコ 菅 節子	3年目	大分市	NBU日本文理大学 大学事務本部部長 （キャリア支援部長）	○
	10	ミダ マサノブ 三ヶ田 雅敏	3年目	由布市	大分森林インストラクター会 会長	○
漁業 ・海	11	オガサキ ミヤコ 岡崎 都	7年目	中津市	大分県漁業協同組合女性部 監事	○
観光 (景観)	12	カワノ アヤコ 河野 綾子	新任	九重町	NPO法人くじゅうネイチャーガイドクラブ	欠
消費者	13	カキ 千恵 賀来 千恵	4年目	別府市	生活協同組合コープおおいた 理事	○
企業	14	オオタ 哲也 太田 哲也	新任	大分市	大分銀行 地域創造部 副部長	○
公募	15	サイエ エリ 堺 絵理	3年目	大分市	大分県シェアリングネイチャー協会事務局長	○
	16	タケモト ケンジ 詫摩 賢治	9年目	杵築市	一級建築士	○

## 2. 関係課室

所属	役職	氏名	会議 出欠
森林整備室	主任	アキ 義隆 安藝 義隆	○
林産振興室	技師	タバタ ミカ 田畑 美香	○
うつくし作戦推進課	主事	サトウ カオ 佐藤 佳央	○
税務課	主事	イガタ サキ 井形 早紀	○

## 3. 事務局

所属	役職	氏名	会議 出欠
農林水産部	審議監(林政)	ヨシマツ ヒロユキ 吉松 史考	○
森との共生推進室	室長	ナカノ マサヒロ 中尾 昌弘	○
	主幹(総括)	フカタ トシタケ 深田 俊武	○
	主幹	タケダ マチ 玉田 縁	○
	主査	カワグチ マサノブ 川口 真司	○
	技師	ヤマシタ ユウセイ 山下 悠世	○
	主事	タヅリ サイカ 田尻 彩夏	○

## 大分県森林づくり委員会設置要綱

(設置)

第1条 大分県森林環境保全基金条例（平成18年大分県条例第26号）第1条に規定する森林環境保全基金（以下「基金」という。）の適正な運用を図るため、大分県森林づくり委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 基金を活用した施策に関する事
- (2) 基金を活用した県民提案事業の審査に関する事
- (3) 基金を活用した事業の成果の検証に関する事
- (4) 新たな森林づくり行動計画に関する事
- (5) 森林環境税の検証、制度の見直しに関する事
- (6) その他基金の運用に関し必要な事項

(委員)

第3条 委員会は、委員17人以内で組織する。

- 2 委員は、学識経験者その他適当と認められる者のうちから、知事が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任することができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することはできない。
- 3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員会は、調査審議等のため必要があるときは、委員以外の者の出席を求めることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、農林水産部森との共生推進室において処理する。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

- この要綱は、平成18年4月1日から施行する。
- この要綱は、平成20年4月1日から施行する。
- この要綱は、平成22年4月1日から施行する。
- この要綱は、平成23年4月20日から施行する。

# (1) 大分県森林環境税の概要

## ① 大分県森林環境税導入の目的

「森林環境の保全と森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成」のために必要な財源を確保するため、平成18年度に県民税の特例として森林環境税を導入

## ② 大分県森林環境税の概要

■ 期間 税の特例期間：5年

- ・第4期：令和3年度～令和7年度
- ・今年度は第4期の3年目

■ 税額 個人…年額 500円（個人県民税の上乗せ）  
法人…年額 1,000円～40,000円  
（法人県民税（均等割額）の5%）

■ 税収 単年度 約3億3千万円

■ 管理・運営

- ・徴収した税は「森林環境保全基金」に積立て、他の事業と区別し活用
- ・基金の適正な運用を図るため、第三者機関「大分県森林づくり委員会」を設置し、事業の審査や成果の検証等を実施

## ③ 全国の森林環境税導入状況

- ・大分県は全国で9番目に導入
- ・R4.3現在、37府県、1市が導入

あなたの500円が500円のおおいたの森林を守ります!

大分県森林環境税は、森林を県民共通の財産として保全し、県民みんなで守り育てるため、平成18年度から導入しています。

**安全・安心の森づくり**

- 災害に強い森林づくり：流木災害の防止に向けて、河川沿いの人工林を整備しています。
- 里山の景観保全：観光ルート沿いの荒れた雑木を伐採して、景観を確保しています。

**森を育てる・使う**

- 人工林資源の再生：伐採後の林地に苗木を植えています。
- 県産材の利用を促進：公共施設などに県産木材を活用しています。

**森を次世代につなぐ**

- 子どもの森林体験学習の推進：子どもが森や木にふれ楽しむ事業を実施しています。
- 森林づくり活動の推進：森林ボランティア活動の促進や県民参加で行う植樹活動を実施しています。

大分県森林環境税について  
県民税とあわせて県民の皆さんにご負担いただいています。

【税額】 個人/年額 500円  
法人/年額 1,000円～40,000円(均等割額の5%相当額)

【税収】 年額 約3億3千万円

【課税期間】 令和3年度～令和7年度(5年ごとに税の取り方や使い方について検討・見直しを行っています。)

## 令和4年度大分県森林環境税活用事業予算規模

○(新)：新規事業    □(新)：一部新規事業    ●(終)：終了事業    青字：他部局事    (千円)

I 県民の暮らしを守る安全・安心の森林づくり	R4当初	III 森を守り親しみ、次世代につなぐ取組	R4当初
1. 災害に強い森林づくり		1. 里山林の保全活動の推進	
① 災害に強い森林づくり推進事業 河川沿いの人工林整備による広葉樹林化、獣害多発地域の再造林支援	37,129	① 魅力ある景観づくり推進事業(都市・まちづくり推進課) 観光ルート沿線や視点場を阻害する雑木を伐採し、景観の再生を図る	5,000
② 公共造林事業(環境林整備事業) 木材生産に適さない尾根・谷部の急傾斜地の広葉樹林化	1,920	2. 森林ボランティア活動の推進	
●(終) 地域の安心基盤づくりサポート事業(河川課) 河川内の流水を阻害させる流木等の除却及び河内内樹木の伐採	0	② みんなで支える森林づくり推進事業(ボランティア支援・広報推進事業を統合) 森林ボランティアによる森林づくり活動支援や森林環境税の広報	16,286
③ 安全・安心な道路環境創出事業(道路保全課) 県管理道沿いで、豪雨時等に倒木の恐れのある木の伐採	30,000	3. 森林林業教育・森林ESDの推進	
2. シカ被害対策の推進		●(新) ④ 森林・林業教育促進事業 森林・林業教育の拠点施設整備、O-Laboと連携した体験教室の開催、指導者の育成及び森の先生派遣	19,580
④ 鳥獣被害総合対策事業 シカ捕獲の推進、ハンターの養成研修、シカ生息個体数調査	60,100	●(新) ⑤ 森の子学校体験活動推進事業(社会教育課) 社会教育施設(香々地・九重青少年の家)における森林・林業7'プログラムの実施	5,129
3. 森・川・海をつなぐ環境の整備		⑤ 森林環境学習促進事業(社会教育課) 森林をフィールドとした社会教育活動、森林環境学習指導者の養成研修の開催	4,925
⑤ 森と海をつなぐ環境保全推進事業(循環社会推進課) 海岸に漂着した流木等を自治会やNPOが回収・除去	3,000	⑥ 未来の環境を守る人づくり事業(うつくし作戦推進課) 子ども探検団の自然体験活動の実施、環境活動発表会の開催	3,534
⑥ 森と海をつなぐ環境保全推進事業(漁業管理課) 漁港、港湾等の流木を回収除去し、漁船や漁具への被害を防止	1,290	⑦ 全国緑の少年団活動発表大会・交流会 みどりの少年団の活動発表大会の開催	4,321
⑦ 豊かな水環境保全推進事業(うつくし作戦推進課) 河川流域の水環境保全活動及び広報活動を支援	1,588	⑧ 農山漁村を牽引する担い手確保・育成事業(高校教育課) 高等学校におけるICT林業の体験学習等を推進	1,477
小計	135,027	4. 森林づくりへの理解を広げる取組	
II 森林資源の循環利用による地域活性化	R4当初	⑨ 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク施設整備事業(自然保護推進室) 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク内の遊歩道整備	8,177
1. 健全な人工林資源の循環と低コスト化の推進		小計	68,429
① 再造林促進事業 林業経営適地での低コスト再造林を促進	114,390	合計(20事業)	324,675
② 優良竹林化・利活用推進事業 荒廃竹林の竹材、タケノコ生産林への再生	5,945	他部局事業(11事業)	64,620
2. 森林資源の利活用推進			
③ 竹産業等振興対策事業 たけのこ生産技術研修の実施及び普及啓発活動の支援	384		
④ 伝統工芸品産業振興事業(商業・サービス業振興課) 全国竹の大会の大分開催での、竹工芸の展示開催など(R2コロナで延期)	500		
小計	121,219		

【テーマ別予算割合】

I. 県民生活を守る安全・安心の森林づくり	42%
II. 資源の循環利用による地域活性化	37%
III. 森を守り親しみ、次世代につなぐ取組	21%

# 災害に強い森林づくり推進事業

## <概要・実績>

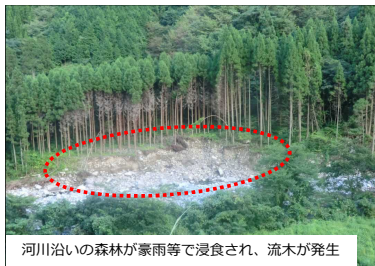
令和5年8月2日

森林整備室  
造林・間伐班

### 災害に強い森林づくり推進事業について

#### 【現 状】

- ◆ 河川沿いや尾根・急傾斜地では適正に管理ができていない人工林があり、森林の公益的機能の低下を招いている。H24及びH29の梅雨前線豪雨では、河川沿いの森林が浸食され流木が発生、また急傾斜地の森林では林地崩壊が発生し、人家や道路等のインフラなどに被害を与えた。



河川沿いの森林が豪雨等で浸食され、流木が発生



農地等に流木が堆積



急傾斜地の森林で林地崩壊が発生



河川や農地に土砂や流木が堆積

#### 【対 策】

- ◆ 災害の発生等が懸念される森林について、森林整備を実施し、早期に公益的機能が発揮できる健全な森林に誘導する。災害の要因となる森林の伐採、樹種転換、適切な森林整備の実施を行い災害に強い森林づくりを整備する。

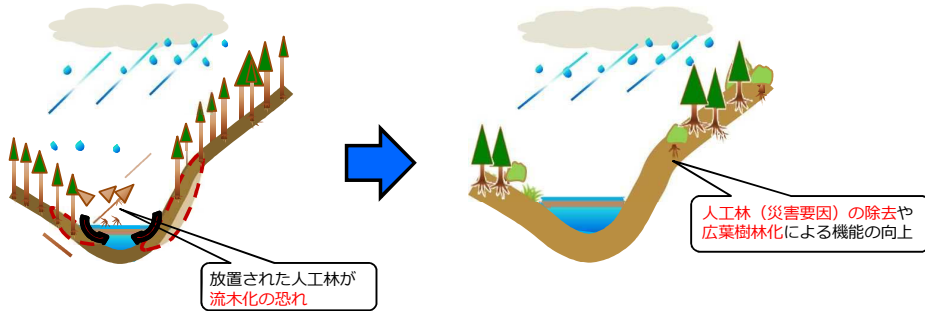


# 災害に強い森林づくり推進事業について

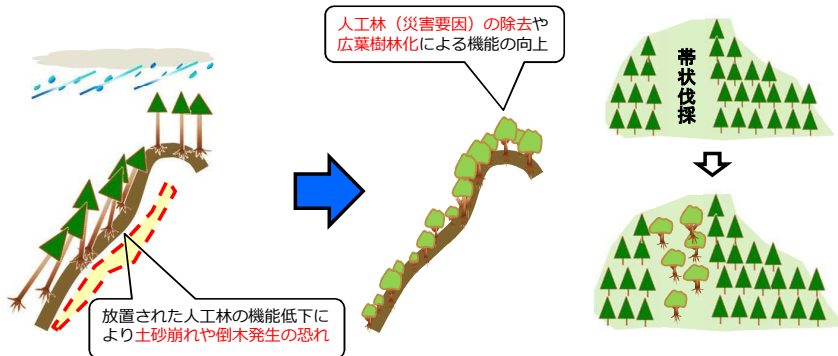
## 【対策の実現への取組】

※ 県森林環境税を活用

河川沿いで  
の取組



尾根・急傾斜地  
での取組



災害に強い森林づくりの推進

# 災害に強い森林づくり推進事業について

日田市大字花月字石河内

実施前

実施後



① 河川沿いの森林整備



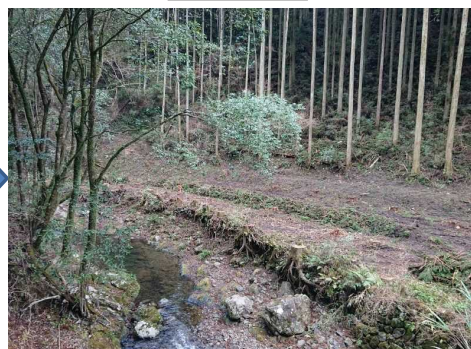
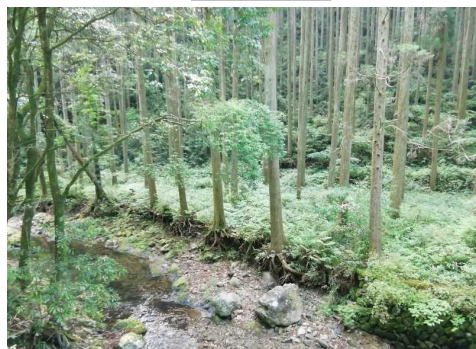
# 災害に強い森林づくり推進事業について

佐伯市本庄大字小川

実施前

実施後

① 河川沿いの森林整備



# 災害に強い森林づくり推進事業について

日田市大字鶴河内字横林

実施前

実施後

② 尾根・急傾斜地の森林整備



R4年度災害に強い森林づくり推進事業 執行一覧								
1. 河川沿いの森林整備 実施一覧 (財源: 県森林環境税)								
予算額		31,524,000						
No.	事業主体	市町村及び 箇所名	施業内容	箇所数	面積 (ha)	効果面積 (ha)	事業費	交付決定額
1	佐伯広域森林組合	佐伯市弥生 大字堤内	伐倒・造材・集材	1	0.4	6	2,963,000	2,700,000
2	大野郡森林組合	豊後大野市 三重町木カ2	伐倒・造材・集材	3	0.85	10	5,498,000	5,498,000
3	日田市森林組合	日田市大字羽田 字熊ノ尾	伐倒・造材・集材	1	0.9	7	4,998,000	4,998,000
4	日田郡森林組合	日田市 前津江町	伐倒・造材・集材	1	0.06	2	1,687,000	1,540,000
5	山国川流域森林組合	中津市耶馬深町 大字福土木カ2	伐倒・造材・集材	3	0.30	5	5,278,000	5,278,000
6	森林ネットおおいた	杵築市大田	伐倒・造材・集材	1	0.5	7	3,566,000	3,566,000
合計				10	3.04	37	23,990,000	23,580,000

2. 尾根・急傾斜地の森林整備 実施一覧 (財源: -財)								
予算額		30,175,000						
No.	事業主体	市町村及び 箇所名	施業内容	箇所数	区域面積 (ha)	伐採面積 (ha)	事業費	交付決定額
1	竹田市森林組合	竹田市直入町木カ1	伐倒・造材・集材	1	2.40	0.82	3,673,000.00	3,673,000
2	日田市森林組合	日田市大字 小野字萩原木カ2	伐倒・造材・集材・人 工造林・作業道補修	3	7.30	2.22	21,218,000.00	21,218,000
3	山国川流域森林組合	中津市山国町 檜木木カ1	伐倒・造材・集材	2	1.30	0.33	3,763,000.00	3,763,000
合計				6	11.0	3.37	28,654,000.00	28,654,000

3. 獣害多発地の整備 実施一覧 (財源: 県森林環境税)								
予算額		5,568,000						
No.	事業主体	市町村及び 箇所名	施業内容	箇所数	区域面積 (ha)	伐採面積 (ha)	事業費	交付決定額
				-	-	-		0
合計				0	0	0		



# 優良竹林化・利活用推進事業

## <概要・実績>

令和5年8月2日

林産振興室

椎茸振興班

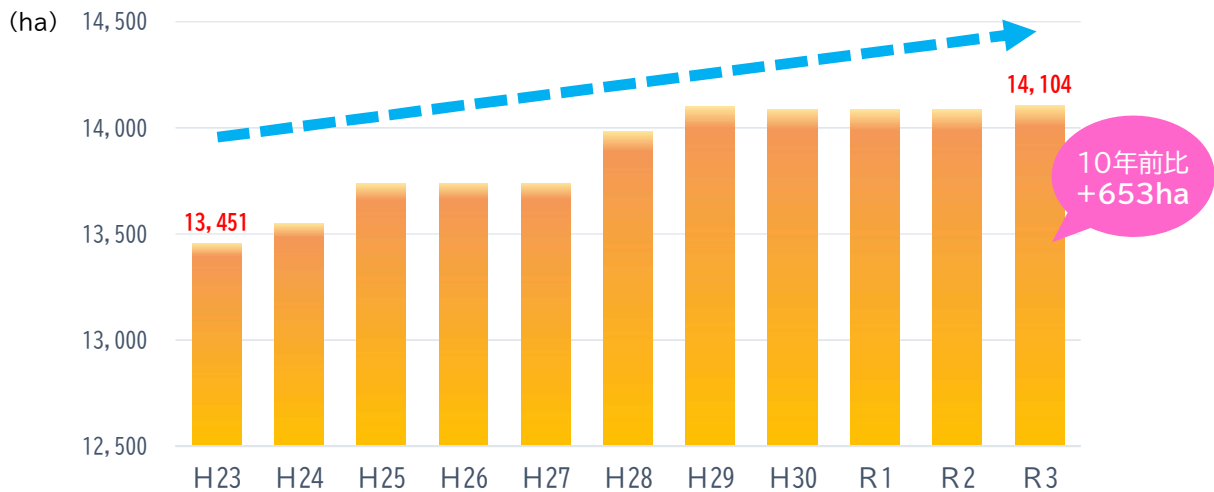
### ■本日のテーマ



竹林活用に対する事業！ 

# 1 大分県の竹林と特用林産物（竹材・タケノコ）の現状

## ◎ 竹林面積の推移



### 現状

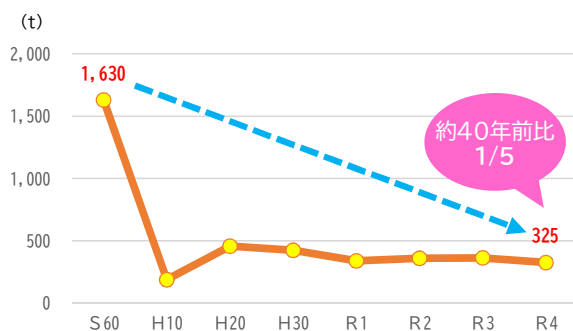
- 全国竹林面積 大分県は**第2位**
- 竹林面積は年々増加傾向
- 管理放棄竹林も増加

### 課題

- 資源は豊富だが活用出来ていない
- 管理放棄竹林の拡大防止

# 1 大分県の竹林と特用林産物（竹材・タケノコ）の現状

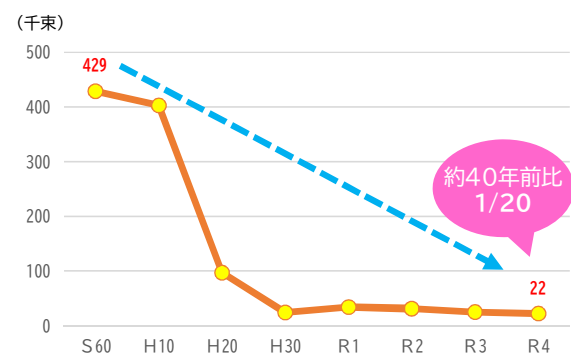
## ◎ タケノコ生産量の推移



### 現状

- 約40年前と比較すると**1/5**に激減
- ◎国産への需要が高まっているが生産量が減少

## ◎ 竹材生産量の推移



### 現状

- 約40年前と比較すると**1/20**に激減
- ◎放置竹林化により大径化し需要がない

### 課題

- 需要に対応可能な生産竹林が必要

- 需要の高い小径竹林へ誘導

その為にはまず・・・

**管理放置竹林** を **管理竹林** に誘導する必要がある！

## 2 対策

<優良竹林化・利活用推進事業>

### ◎竹林整備経費を助成

**管理放置竹林** をタケノコ・竹材生産可能な **優良竹林** へ整備する費用を定額助成

#### (1)伐竹整備

内 容：伐竹・整理・チップ化にかかる費用  
事業費：標準事業費 × 面積(ha)  
補助率：3/4(県全額)

#### (2)簡易作業路の設置

内 容：搬出・維持管理道の開設費  
事業費：1mあたり500円  
補助率：定額(県4/5、市1/5)

<事業イメージ> タケノコ生産ver



(放置管理竹林)



(伐竹・粉碎処理)



(たけのこ採取)



(集荷工場へ出荷)

#### 事業効果

- 1.持続的な資源の供給が可能 …竹は成長スピードが速いので再生可能資源である
- 2.継続管理が可能 …タケノコや竹材など生産を目的にすることで継続管理が見込まれる
- 3.管理竹林の拡大 …増産意欲があれば、周辺竹林への整備拡大可能

## 3 事業活用事例

<タケノコ生産>



整備前



整備後



整備後

#### <事業概要>

事業目的：タケノコ生産  
実施年度：令和3年度、令和4年度  
事業主体：NPO法人碧い海の会  
(大分市)  
事業規模：③0.32ha / ④0.37ha  
生産実績：約100kg



### 3 事業活用事例

<竹材生産>

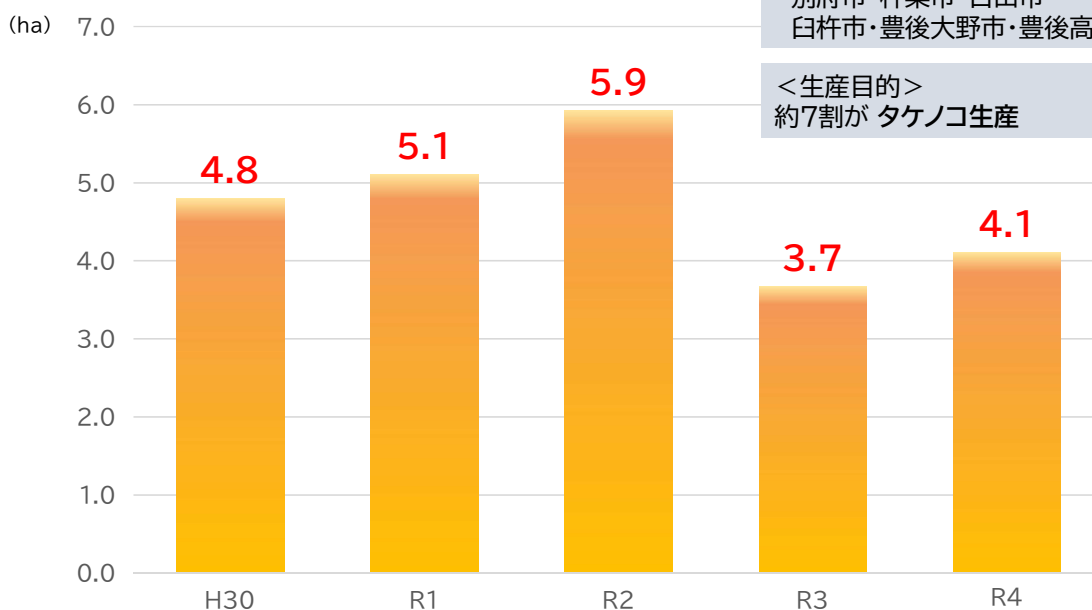


#### < 事業概要 >

事業目的 : 竹材生産  
実施年度 : 令和4年度  
事業主体 : 安藤製竹所  
(宇佐市)  
事業規模 : 0.59ha

### 4 事業実績

◎ 過去5年の事業実績(面積)



<主な活用市町村>  
別府市・杵築市・日田市  
臼杵市・豊後大野市・豊後高田市

<生産目的>  
約7割が タケノコ生産

今後も**継続**して整備を促進する必要がある！



# 令和4年度 森林環境税活用事業の取組報告

## うつくし作戦推進課



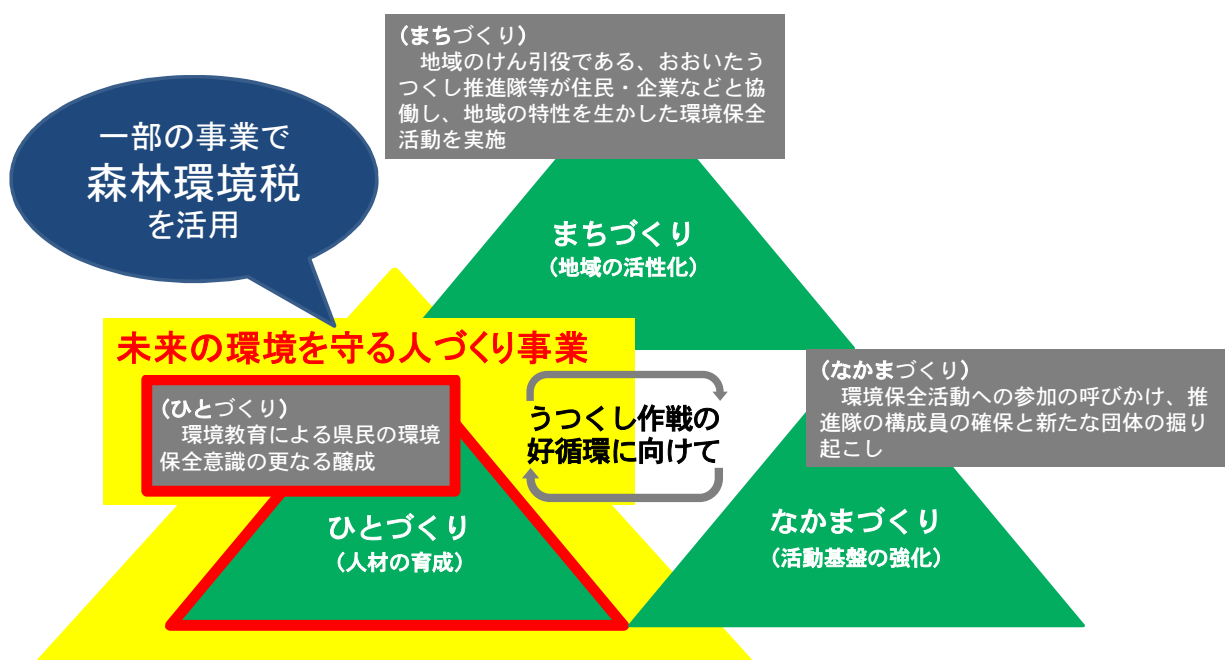
令和5年8月2日



### おおいだうつくし作戦3つのアクション

1

おおいだうつくし作戦では、「まちづくり」・「ひとづくり」・「なかまづくり」の3つのアクションとこれらの好循環により、県民の環境保全意識の更なる醸成と持続可能な活動の基盤づくりを目指します。



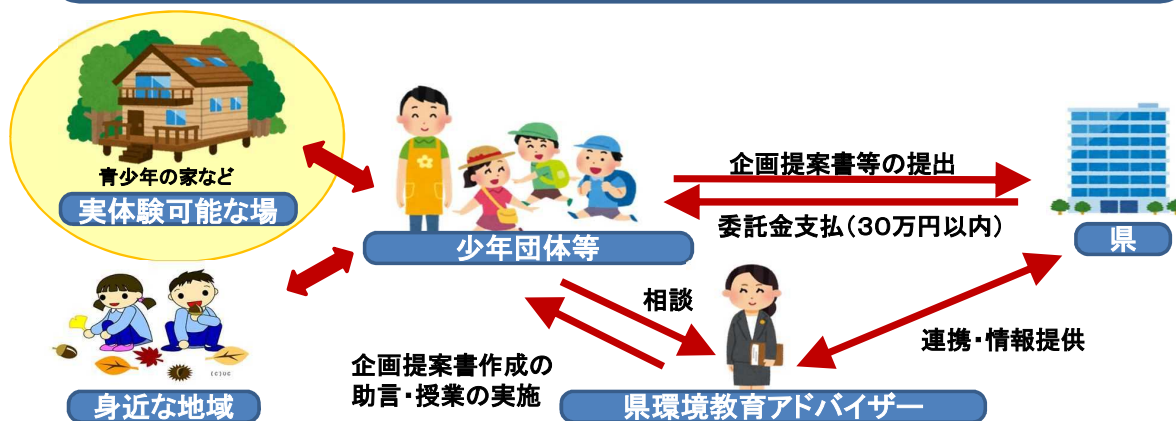
# おおいたこども探険団推進事業

2

子どもたちを対象に、自然体験活動など実体験を伴う年間を通じた環境学習を行う団体に委託(1団体30万円以内)

- ◆条件: ・県環境教育アドバイザー等外部講師を最低1回は活用
- ・県内の自然体験活動など、実体験が可能な場(※)を最低1回は活用

(※)九重青少年の家、のつはる少年自然の家、大分農業文化公園、干潟・海岸・河川等、廃棄物リサイクル工場など



## 【委託契約の対象となる経費】

事業当日の団体構成員の日当・旅費、外部講師謝礼・旅費、野外活動時の飲料代(熱中症予防に係るもの)、材料代、保険料、バス借上代 等



# おおいたこども探険団推進事業 実施団体 [R4年度-9団体]

3

団体名	実施場所	参加者	主な活動
NPO法人チーム1.5おおいた	九重町	県内小中学生 約120名	八丁原地熱発電所・鳴子川水力発電所等の見学による再生可能エネルギーの学習、地球温暖化に関する学習会
NPO法人アイラブグリーン大分	大分市	県内幼稚園生 約390名	県内幼稚園で自然観察会や落ち葉プールを実施
NPO法人いきいき安心おおいた	大分市	大分県内幼稚園生、小学生 約40名	伐採した竹で竹チップの形成、クヌギの木の玉切りやコマ打ちの体験による、廃棄されるものを資源として活用する体験活動
大分市キャンプ協会	由布市	県内幼稚園生～中学生 約80名	城ヶ原オートキャンプ場での自然体験キャンプ、高崎山ハイキング、生態について学ぶ自然観察会
日岡地域食堂	竹田市	原川中学校校区、東大分小学校校区の小学生 約40名	葉や竹での食器づくりなど、プラスチックごみや食品ロス等身近な環境問題の理解につながる自然体験活動
赤野の森	由布市	大分市、別府市、挾間町等在住の子ども 約110名	自然素材を活用したもののづくり、季節ごとの環境に触れる自然体験活動
アソビLAB	別府市	県内小学生 約160名	内成棚田での田植え・稲刈り・芋掘り・シイタケコマ打ち体験、地域での清掃活動、ごみ問題の学習
一般財団法人 セブン-イレブン記念財団 九重ふるさと自然学校	九重町	九重町の小学生 約20名	湯坪川での川釣り体験や生き物採集などによる自然環境学習、河川のごみ拾い
佐伯地域ユネスコエコパーク 推進協議会	佐伯市	県内小学生 約40名	祖母・傾・大崩ユネスコエコパークでの自然環境学習・自然体験活動

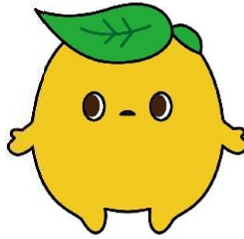
# おおいたこども探検団推進事業

4

川の生き物探し  
(九重ふるさと自然学校)



シイタケのコマ打ち体験  
(アソビLAB)



自然体験活動 (大分市キャンプ協会)



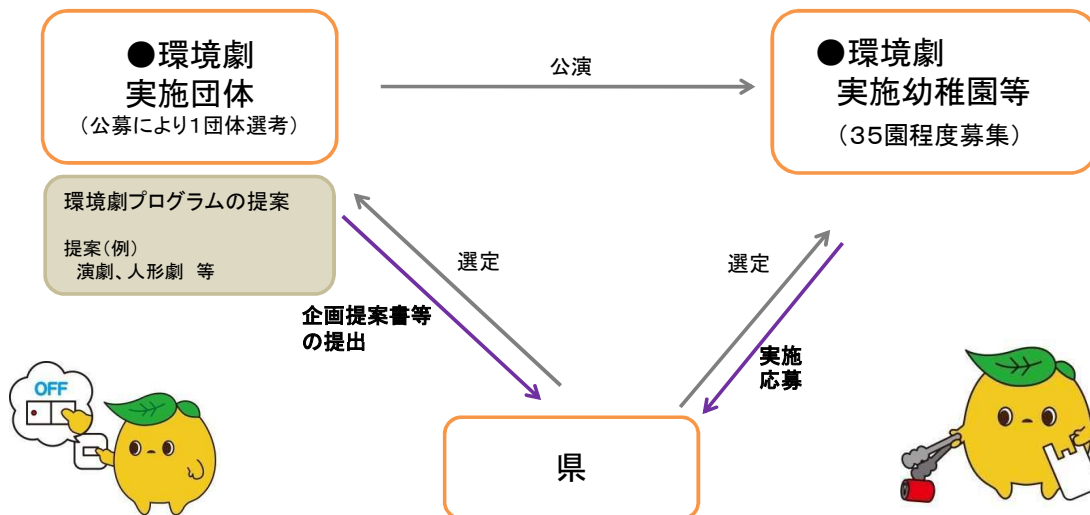
# 幼児向け環境劇巡回公演事業

5

【概要】幼児向けの環境に関する演劇や人形劇の公演を実施。

(方法) ○実施する幼稚園等を公募。県内の35箇所以上で実施

(効果) ○環境に関する演劇や人形劇の公演を通じて、幼児が楽しみながら環境への取り組みに関心を持つきっかけをつくり、環境問題への理解を深めることができる。





# 幼児向け環境劇巡回公演事業

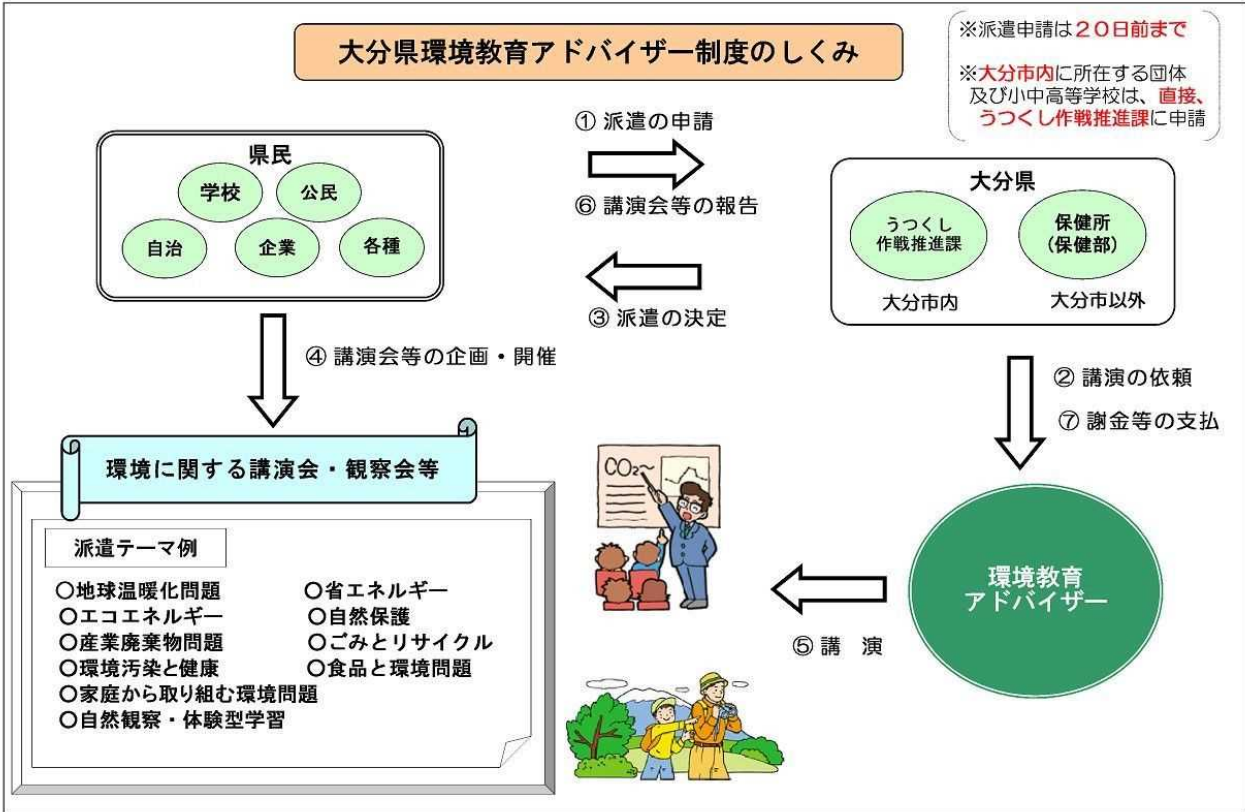
6

令和4年度 有限会社想造舎「しろろ！まもろう！うつくしおおいた」（クラウン劇）



# 大分県環境教育アドバイザー制度

7





## 環境教育アドバイザーによる講座等

### 1 派遣件数の推移

年度	元年度	2年度	3年度	4年度
派遣件数	165件	96件	114件	153件
参加者数	8,696人	3,412人	5,822人	7,169人

### 2 主催者の構成

主催者区分	元年度	2年度	3年度	4年度
学校(高校、小・中学校)	41件	41件	35件	35件
公民館	26件	19件	15件	3件
事業所	7件	1件	1件	3件
行政(県・市町村)	19件	4件	16件	13件
その他団体	72件	31件	47件	99件
計	165件	96件	114件	153件

### 環境教育アドバイザーの構成

大学教授等	5人
環境カウンセラー	28人
地球温暖化防止等有資格者	9人
大学教授と堂塔	3人
有識者	23人
計	68人

### 3 講座内容(令和4年度)

分野	件数	備考
地球環境問題	22件	地球温暖化
環境保全	26件	水環境、環境保全全般、その他
自然環境	22件	天体・気象、動物・植物、自然環境全般
生活環境	17件	省エネ、エコライフ、3R・ゴミ・食品ロス、防災
環境学習	66件	自然観察・体験、遊び

## 環境教育アドバイザー制度

環境教育アドバイザーによる生き物調査  
(大分市立川添小学校)



環境教育アドバイザーによる環境学習  
(大分大学教育学部附属小学校)



## (2) 令和5年度大分県森林環境税活用事業の取組について

### 令和5年度大分県森林環境税活用事業予算一覧

○(新) : 新規事業

□(新) : 一部新規事業

○(終) : 終了事業

青字 : 他部局事業

(千円)

I 県民の暮らしを守る安全・安心の森林づくり	R5当初	R4当初	増減額	III 森を守り親しみ、次世代につなぐ取組	R5当初	R4当初	増減額
1. 災害に強い森林づくり				1. 里山林の保全活動の推進			
① 災害に強い森林づくり推進事業 河川沿いの人工林整備 ※獣害多発地の整備終了(R2~R4)	31,561	37,129	△ 5,568	① 魅力ある景観づくり推進事業(都市・まちづくり推進課) 視対象を阻害する雑木を伐採し、景観の再生を図る ※DC対策	7,009	5,000	2,009
② 公共造林事業(環境林整備事業) 木材生産に適さない尾根・谷部の急傾斜地の広葉樹林化	1,920	1,920	0	② おもてなしの道路環境整備事業(道路保全課) DC対策として、空港道路沿い等の景観の支障となる竹林等の整備・支障木伐採により、良好な森林景観を提供する	10,000	0	10,000
③ 安全・安心な道路環境創出事業(道路保全課) 県管理道沿いで、豪雨時等に倒木の恐れのある木の伐採	30,000	30,000	0	2. 森林ボランティア活動の推進			
2. シカ被害対策の推進				③ みんなで支える森林づくり推進事業 全国育樹祭のレガシーとして子ども達(みどりの少年団)や親子等を主体とした「次代につなぐ森づくり大会《県民の森フェス》(仮称)」の開催、ボランティアによる森づくり活動支援、県森林環境税の広報	19,788	16,286	3,502
④ 鳥獣被害総合対策事業 森林に被害を与えるシカの捕獲推進	60,100	60,100	0	3. 森林林業教育・森林ESDの推進			
3. 森・川・海をつなぐ環境の整備				④ 森林・林業教育促進事業 森林・林業教育の支援推進、O-Laboと連携した体験教室の開催、指導者の育成及び森の先生派遣、みどりの少年団活動の推進	20,109	19,580	529
⑤ 森と海をつなぐ環境保全推進事業(循環社会推進課) 海岸に漂着した流木等を自治会やNPOが回収・除去	3,000	3,000	0	⑤ 森の子学校体験活動推進事業(社会教育課) 社会教育施設(香々地・九重青少年の家)における森林・林業プログラムの実施	6,902	5,129	1,773
⑥ 森と海をつなぐ環境保全推進事業(漁業管理課) 漁港、港湾等の流木を回収除去し、漁船や漁具への被害を防止	1,290	1,290	0	⑥ 森林環境学習促進事業(社会教育課) 森林をフィールドとした社会教育活動、森林環境学習指導者の養成研修の開催	4,908	4,925	△ 17
○(終) 豊かな水環境保全推進事業(うつくし作戦推進課) アジア・太平洋水サミットも終了し、他事業へ統廃合により終了	0	1,588	△ 1,588	⑦ 特別支援教育振興事業(特別支援教育課) 特別支援学校における木製遊具等の導入による木育・森林教育を推進	3,710	0	3,710
小計	127,871	135,027	△ 7,156	⑧ 未来の環境を守る人づくり事業(うつくし作戦推進課) 子ども探検団の自然体験活動の実施、環境活動発表会の開催	3,534	3,534	0
II 森林資源の循環利用による地域活性化	R5当初	R4当初	増減額	○(終) 全国緑の少年団活動発表大会・交流会(全国育樹祭併催行事) 全国緑の少年団活動発表大会の終了	0	4,321	△ 4,321
1. 健全な人工林資源の循環と低コスト化の推進				⑨ 農山漁村を牽引する担い手確保・育成事業(高校教育課) 高等学校におけるICT林業の体験学習等を推進	1,477	1,477	0
① 再造林促進事業 林業経営適地での低コスト再造林を促進	117,900	114,390	3,510	4. 森林づくりへの理解を広げる取組			
② 優良竹林化・利活用推進事業 荒廃竹林の竹材、タケノコ生産林への再生	5,756	5,945	△ 189	⑩ 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク施設整備事業(自然保護推進室) 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク内の遊歩道整備(R4-7で計画的実施)	2,475	8,177	△ 5,702
2. 森林資源の利活用推進				○(新) ⑪ 森・川・海つながり実感！プロジェクト(漁業管理課) R6全国豊かな海づくり大会に向けた体験ツアー等の開催	1,240	0	1,240
③ 竹産業等振興対策事業 たけのこ生産技術研修の実施及び普及啓発活動の支援	379	384	△ 5	小計	81,152	68,429	17,723
○(終) 伝統工芸品産業振興事業(商業・サービス業振興課) R4に全国竹の大会の大分開催実施見込みのため終了	0	500	△ 500	合計(20事業)	333,058	324,675	13,383
小計	124,035	121,219	2,816	他部局事業(12事業)	75,545	64,620	15,925

【テーマ別予算割合】R5要求ベース

I 県民生活を守る安全・安心の森林づくり	39%
II 資源の循環利用による地域活性化	37%
III 森を守り親しみ、次世代につなぐ取組	24%





# 第1回森フェス 実施計画書(案)

**1 趣旨**

「第45回全国育樹祭」の取組み（「伐って使い、植えて育てる」、「次代につながる森林づくり」）を一過性のものとしないうために、子供を主体とした森林・林業教育体験イベントを今年度より開催する。

**2 開催場所**

県民の森（平成森林公園、豊後大野市大野町藤北）  
 開会式：全国植樹祭記念広場  
 活動地：平成森林公園（育成の森）  
 ※荒天時：のつはる少年自然の家（案）

**3 主催**

森フェス実行委員会  
 （旧 豊かな国の森づくり大会実行委員会、県/森林ネットおおいた）

**4 開催日**

令和5年11月18日（土）※九州森林の日（11月第2日曜日）付近  
 開会式（知事挨拶、苗木贈呈・植樹） 10:00～10:30  
 森林・林業体験イベント 10:30～12:30

**5 参加者（予定）**

- ・みどりの少年団 300人
- ・一般公募による親子等 150人
- ・大学生(NBU、大分短大) 50人
- ・林業関係者・県・業者（スタッフ）100人
- 計 600人

**6 イベント内容**

「伐って使い、植えて育てる」林業のサイクルが体感・学べる体験やワークショップ  
 「伐る」：伐採見学、丸太切り体験  
 「使う」：ミニハウス上棟体験会、端材を使ったワークショップ  
 「植える」：記念植樹、ツリーシェルター見学  
 「育てる」：間伐・枝打ち体験  
 全般：森林観察体験、パネル展

**7 タイムスケジュール**

企画提案書15ページ参照

○イベントイメージ写真



## R5大分県 森林・林業教育の推進体系

持続可能な社会の実現に寄与する森林づくりに向けた県民の理解・気運醸成  
大分の森林・林業を担い育てる人材の育成





## 特別支援学校児童生徒の自立活動における 木製遊具の導入



教育庁特別支援教育課

### 事業目的

- ☆副読本の動画教材を活用
- ・遊具を構成している木材がどのような環境で、どの様に育まれているのか、知識・理解を向上する

#### 児童生徒の知的な発達段階に応じた木材との関わり



特別支援学校で行われている「木工作業」で、自分たちの使っている木材が森林から製材となる過程を理解する



遊具が木材でできていることを知り、森林で木がどのように育まれているかを知る

## 第43回全国豊かな海づくり大会「基本構想（案）」

### 3. 基本理念

大分県の豊かな海や川を次代へ引き継いでいくため、つくり育てる漁業に一層取り組むとともに、それらを育む自然環境を守っていくことの重要性を県内外へ広く訴えかけます。  
また、四季折々の味力あふれる多様な水産物に加え、「おんせん県おおいた」の新たな魅力を全国へ広く発信していきます。

### 4. 基本方針 (基本理念を支える4つの柱)

#### ① 水産資源の保護と管理の一層の推進

水産資源の維持・増大を図り、「生産者の挑戦と努力が報われる漁業」の実現に向け、令和5年度にリニューアルする大分県漁業公社を核に、つくり育てる漁業をさらに推進するための大会とします。

#### ② 森から川、海へとつながる豊かな自然環境の保全

森から川へ、川から海へとつながる自然環境や藻場造成などによる良好な沿岸環境の保全とともに、近年、国際的に大きな問題となっている海洋プラスチックゴミや地球温暖化などの環境問題に取り組むことの重要性について県内外へ広く訴えかけることで、本県の豊かな海や川を次代に引き継いでいく大会とします。

#### ③ 四季折々の多様な水産物の消費拡大

「関あじ開さば」、「城下かれい」、「かぼすブリ」、「姫島車えび」などのブランド水産物をはじめ、本県の海や川で育まれた四季折々の多様な水産物の味力を県内外へ発信し、消費拡大を図る大会とします。

#### ④ おんせん県の新たな魅力を全国に発信

「宇宙港」としての発展が期待される大分空港、日本唯一の海上交通であるホーパークラフトの復活など本県では地域の活性化に向けた新たな取組を次々と展開しています。令和6年春のデスティネーションキャンペーンとあわせて、新たな魅力を全国に発信する大会とします。



たくさんの生き物が暮らす大分の豊かな海とそれを育む森と川。  
頼もしいプレゼンターと一緒にその自然に触れて、学んで、  
森・川・海の大切なつながりを実感しよう！

参加無料

事前申込制

雨天決行

対象 大分県内在住の小学4～6年生

定員 各プログラム15人程度



大分川の清流から動物園へ  
海と宇宙の距離とは？

【申込対象】 令和6年度 / 令和5年度参加予定  
・県教育センター  
・県立大分女子  
・県立大分南  
・県立大分北  
・県立大分東

申し込み締切：9/15(金)

※参加費無料：150名(15)

申し込み



瀬戸内海最大！  
中津千鳥の秘密に迫る！

【申込対象】 令和6年度 / 令和5年度参加予定  
・県教育センター  
・県立大分南  
・県立大分東  
・県立大分北  
・県立大分東

申し込み締切：9/23(金)

※参加費無料：150名(15)

申し込み



“ウオザキリン”って何？  
森が育む豊かな海

【申込対象】 令和6年度 / 令和5年度参加予定  
・県立大分南  
・県立大分東  
・県立大分北  
・県立大分東

申し込み締切：9/16(金)

※参加費無料：150名(15)

申し込み

(3) その他 ①国森林環境税と県森林環境税について

# 国の「森林環境税」と「森林環境譲与税」の概要と取組について

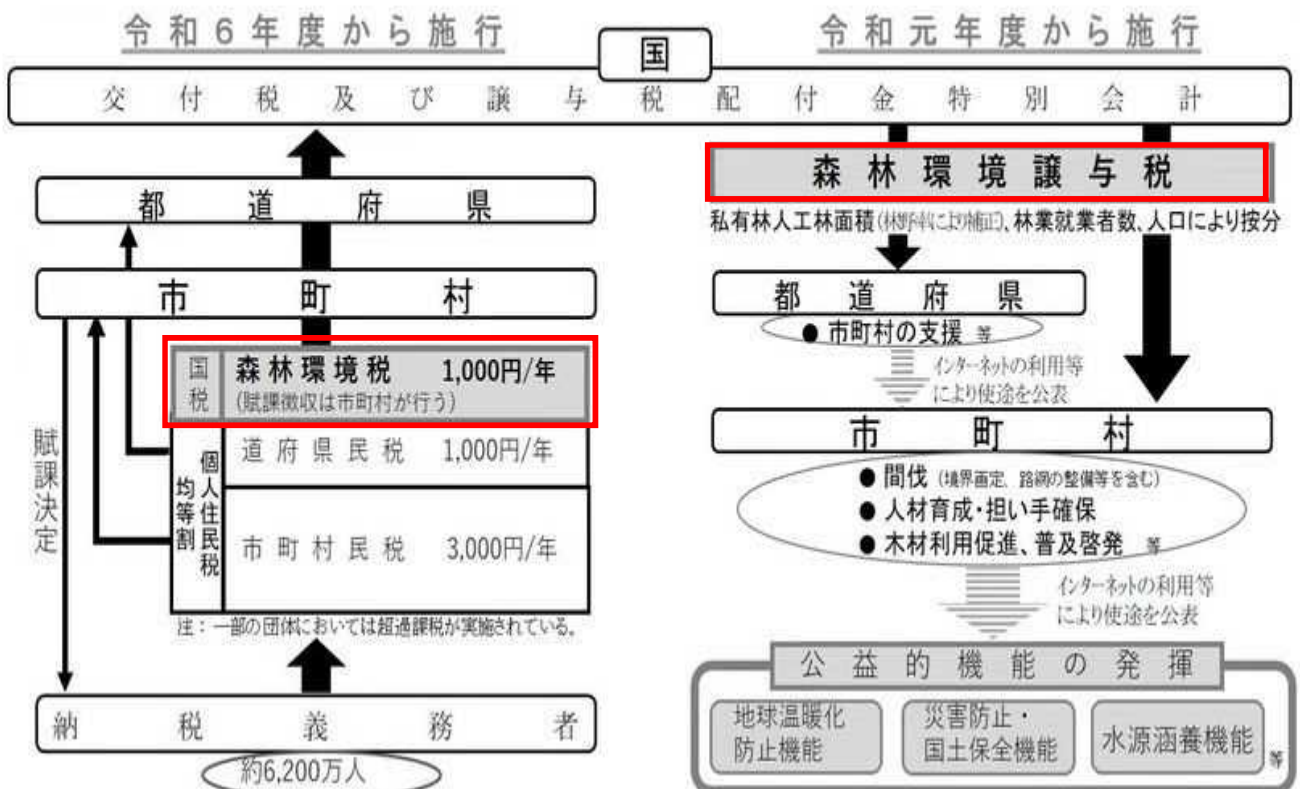
令和4年12月22日（木）

大分県 農林水産部 林務管理課

1

## 国の森林環境税及び森林環境譲与税について

### 森林環境税及び森林環境譲与税の仕組み



2



## 2, 森林環境譲与税

◎活用実績については、ホームページ等で  
情報公開の必要あり

### ●用途

### 法律による市町村の用途（法第34条第1項）

- ① 森林の整備に関する施策
- ② 森林の整備を担うべき人材の育成及び確保
- ③ 森林の有する公益的機能に関する普及啓発
- ④ 木材の利用の促進
- ⑤ その他の森林の整備の促進に関する施策

◎税創設の経緯（H30税制改正大綱）を踏まえれば、  
経営意欲の低下や所有者不明、境界未確定等により  
経営管理されていない森林の整備について  
主に活用していくことが重要

3

## 2, 森林環境譲与税

### ●令和4年度 市町村の主な用途

### 1. 森林整備

- ① 経営放棄林の資源調査
- ② 所有者への意向調査や境界確認
- ③ 経営放棄林の森林整備
- ④ 森林クラウドシステムの活用
- ⑤ 森林作業道の維持補修



4



## 2. 森林環境譲与税

### ●令和4年度 市町村の主な用途

## 2. 担い手の育成・確保

- ①労働安全装備やICT機器の支援（防護服、空撮ドローン、等）
- ②福祉施設と連携した苗木生産
- ③資格取得研修等へ参加する際の補助



ICT機器の導入支援(豊後大野市)



林福連携苗木生産者育成(杵築市)

5

## 2. 森林環境譲与税

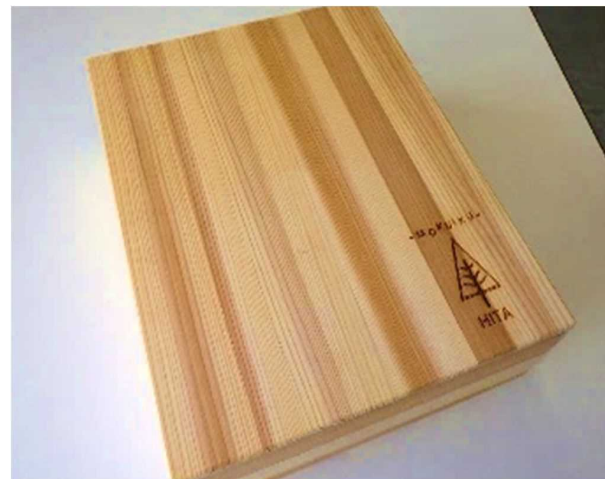
### ●令和4年度 市町村の主な用途

## 3. 普及啓発

- ①林業・木材関係イベントの開催
- ②子ども誕生世帯への木箱の配布



木と暮らしのフェア(日田市)



新生児世帯への地元産材の箱の配布(日田市)

6

## 2, 森林環境譲与税

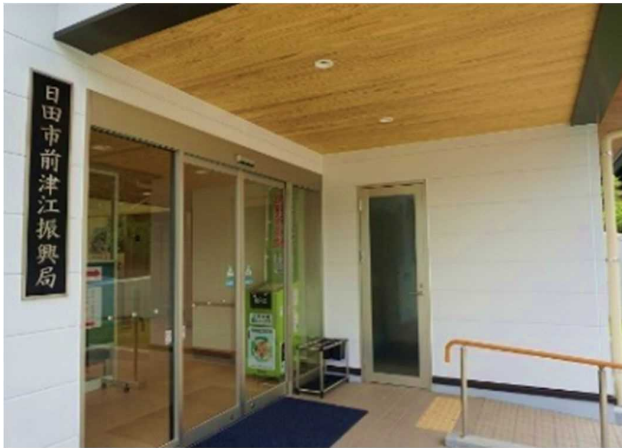
### ●令和4年度 市町村の主な用途

## 4. 木材利用

- ①市町村施設の木造化・内装木質化
- ②小中学校の木質化や机・椅子の木質化
- ③木造住宅への地域材活用支援



地域材活用支援(国東市)



前津江振興局(日田市)



由布川溪谷(由布市)

## 大分県森林づくり委員会における国環境税と県環境税の整理検討状況

	日時	委員会	協議内容
令和元年度	6月25日	令和元年度第1回	<p>○新たな森林管理制度の整備 ○国森林環境譲与税と県森林環境税の用途の整理</p> <p>(主な委員意見) ・「森林環境税」という名前が同じなので、県税の名前を変更しては。</p>
	10月30日	令和元年度第2回	<p>○県森林環境税と国森林環境税の住み分け案について</p> <p>(主な委員意見) ・市町村毎に譲与税の用途が広がって調整が難しくなるのでは。 ・細かく事業毎に住み分けるのではなく、なるべく分かりやすく簡単に整理した方が良いのでは。</p>
	12月24日	令和元年度第3回	<p>○県森林環境税と国森林環境譲与税の整理 ○県森林環境税の名称変更について</p> <p>(主な委員意見) ・人材育成の取組は非常に重要。担い手対策は譲与税で実施することだが、県での取組も残して欲しい。 ・名称は、問題がなければ変えなくても良いのでは。 ・名称が異なる方が区別できて良いのでは。</p>
	3月12日	令和元年度第4回	<p>○県森林環境税の名称について</p> <p>(主な委員意見) ・変更した方が望ましいのでは。</p>
2令和年度	10月29日	令和2年度第3回	<p>○R3年度予算編成における事業の見直し状況 説明</p> <p>・県環境税活用事業のうち、事業費約10,000千円程度の事業について、市町村の森林環境譲与税による事業へ移行する旨を説明。</p>
3令和年度	6月29日	令和3年度第1回	<p>○大分県森林環境税の概要</p> <p>「大分県森林環境税」と「国の森林環境税」の活用 説明</p>
4令和年度	12月22日	令和4年度第3回	<p>○国の「森林環境税」と「森林環境譲与税」の概要と取組について 説明</p> <p>(主な委員意見) ・市町村毎に活用に濃淡があるのでは。予算が足りないために取組みが進まない、ということがないようにして欲しい。</p>



## R3年度予算編成における事業の見直し状況

(市町村の森林環境譲与税等による取組への移行)

## I 県民生活を守る安全・安心の森林づくり

## ①災害に強い森林づくり推進事業

事業メニュー	事業内容	大分県森林環境税 事業について	今後の事業実施について
河川沿いの 森林整備	河川沿いにある、流木化が懸念される森林の整備	→ 継続	-
施業放棄地の 再造林	伐採後に再造林がなされず放置された森林の再造林	→ R2で廃止 △2,200千円	R3以降は、市町村と執行体制、財源について協議中。
間伐放置林の 整備	10年以上、間伐等が実施されていない、放置された森林における強度間伐	→ R1で廃止 △3,600千円	令和2年度より、森林環境譲与税による取組へ移行済み
獣害多発地の 再造林	再造林を実施したが、シカなどにより苗木が食害を受けた森林の再造林(被害復旧)	→ 継続	-

## II 森林資源の循環利用による地域活性化

## ②荒廃竹林利活用

事業メニュー	事業内容	大分県森林環境税 事業について	今後の事業実施について
荒廃竹林の 広葉樹林化	森林所有者が自力で整備することが困難な、荒れた竹林を伐採し、広葉樹再造林を実施する。	→ R2で廃止 △4,500千円	令和3年度より、森林環境譲与税による取組へ移行済み
荒廃竹林の 優良竹林化	管理放棄された竹林のうち、竹材やタケノコ生産地として利活用が見込むことが出来る竹林の整備を実施する。	→ 継続	-

○大分県森林環境税活用事業のうち、事業費約10,000千円相当の事業については、市町村の森林環境譲与税による事業として予算整理。

# 「大分県森林環境税」と「国の森林環境税」の活用の考え方

## 大分県森林環境税(H18～)

所有者の自主的な森林管理を支援

森林資源の循環利用を促進

○課税額 個人 500円/年  
企業 1,000～40,000円/年

### ○税の活用※

- ① 森林資源の循環利用
- ② 災害に強い森林づくり
- ③ 森林づくり意識の醸成 など



## 国の森林環境税(R6～)

市町村による公的な森林管理を推進

経営放棄森林を適切に管理

○課税額 個人 1,000円/年 (R6から徴収開始)

### ○税の活用※

- ① 経営放棄された森林の整備
- ② 森林整備を担う人材の育成・確保
- ③ 木材の利用の促進、普及啓発 など



## 大分県森林環境保全基金

### ○主な用途

- ①経費を抑えた再造林の推進  
(植林本数を約3割削減)
- ②県公共施設の木造・木質化
- ③災害に強い森林づくりの推進  
(河川沿いの森林整備など)
- ④森林ボランティア活動の支援
- ⑤子どもの森林林業教育の推進
- ⑥シカ被害対策の推進



(再造林の推進)



(河川沿いの森林整備)

## 森林環境譲与税(H31～、市町村)

国が森林環境税を市町村へ譲与※1

※1 H31から運用開始

### ○主な用途

- ①経営放棄された森林の整備など
- ②市町村公共施設の木造・木質化
- ③実行体制の整備 (専門職員雇用など)
- ④森林整備の担い手確保・育成
- ⑤上記推進にむけた普及啓発



(整備前)



(整備後)

両税を活用した森林整備による、森林の公益的機能の発揮

(3) その他 ②今後のスケジュールについて

令和5年度 大分県森林づくり委員会の今後のスケジュール(案)について

令和5年10月25日(水)午後  
(予定)  
をご予定お願いします。

	令和4年度		令和5年度												
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
森林づくり委員会		<ul style="list-style-type: none"> <li>森林づくり委員会委員任期 4月21日まで</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>森林づくり委員会委員長 7月1日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回</li> <li>令和4年度 森林環境税活用事業報告</li> <li>国環境税と県環境税の整理</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回</li> <li>次年度新規事業審査</li> <li>税収状況と活用用途の整理</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回</li> <li>今後の県森林環境税のあり方について (現地視察)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>第4回</li> <li>国森林環境税徴収開始について</li> </ul>	
森との共生推進室						<ul style="list-style-type: none"> <li>県政モニターの実施</li> <li>(賛同率調査・森林環境税に期待する効果)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞広報 PRハンドブック作成</li> <li>森林環境税の取組のPR)</li> </ul>						